

⑦6 福来う（ふっこう）を目指した広報活動への取り組み

受賞機関 福島県 いわき建設事務所

キーワード 広報登録、大震災からの復興、多様な広報の展開

全建賞審査委員会の評価ポイント

震災からの復旧・復興事業が順調に進んでいる『いわきの今』を多くの方々に知ってもらい、『来て』もらうことにつながるため、大型パネルによる写真等の展示会開催などを積極的・広域的に行った取り組み。

福島だけでなく、都庁、羽田空港など様々な場所・機会を利用して復興をPRしている点や、展示にドローンの空撮写真を用いるほか広報手段にInstagramを用いるなど、これまでにない手法にアプローチした点が評価された。

1. はじめに

東日本大震災による地震・津波・原子力災害から着実に復旧・復興を遂げている「いわき市」。

しかし、そんな『いわきの今』をどのくらいの人知っているのだろうか。訪れたくても現状が分からない方がいるはず。『来て』もらうためには整備するだけでなく伝えることが必要。そんな思いから関係職員一丸となって知恵と行動力を駆使し、積極的・広域的広報に取り組んできた。

2. 事業の概要

1) 大型パネルによる写真等の展示会開催

展示会は、自らドローンで撮影した大型のA0版（縦84cm×横112cm）写真パネルを中心に見やすさを工夫し、市内、県内の他、東京都庁・羽田空港・海ホテルなど多く人の集まる首都圏での開催に取り組んだ。

こだわり

- ・見る人にインパクトを与える大型パネル
- ・見る人の興味を引く、写真の比較構成
- ・沿岸部を一目で見てもらえるドローン空撮
- ・ドローン空撮写真の写真的仕上がり
- ・広域開催のための積極的売り込み



東京都庁での写真展開催様子



平成 29 年度末に完了した「いわき市平薄磯地区」
(平成 30 年 6 月 ドローン撮影)

2) Instagramの開設

復旧・復興情報が全国、世界に拡散することを期待し、県土木部関係として初の公式Instagramを開設した。
(iwaki_const)

3) その他

- ・表面を1枚写真で表現する手法にこだわった『復旧・復興だより』のシリーズ化と広域的配布
- ・視察団体受入と関係機関での説明機会確保

3. 事業の成果

展示会等でのアンケートから、取り組みを実施したことにより、約4割の方にインフラの復興に対し何らかの関心を持っていただけたことが分かった。また、首都圏はもとより西日本の方々にも状況を伝えることが出来たのが成果の一つであると考えている。さらに、地域の方からは当事務所の広報を楽しみにしているとの声をいただくこともできた。

4. おわりに

「ふくしま」の復興は未だ道半ば。復興をより加速化するためには、多くの方々に「ふくしま」に『来て』いただくことが必要である。まもなく完了するいわきのインフラ整備の状況を今後も広く・継続的にそして根気強く伝えていくことで、「ふくしま」の「真の復興」に向けた一助になればと考えている。

最後に、当事務所の広報活動にご理解・ご協力をいただいた関係機関の方々に、心から感謝申し上げたい。